



可叶仁の夏。

## 最近のまちのこと

今年で9回目を迎えた“KESEN ROCK FESTIVAL”。今年も種山高原が音楽で満たされました。7/14(土)-15(日)の2日間開催のため、会場ではテント泊をして2日間楽しむ人もいました。東北各地からの出展ブースではおいしいフェスごはんも体験することができ、会場は大いに盛り上がっていました。



KESEN ROCK FESTIVAL 2018  
が今年も種山高原で開催されました!!

**KRF**  
KESEN ROCK FES



## 松日橋 架け替えプロジェクト

下有住（しもありす）地区で昔から変わらず、  
その集落に住む人々に守られ、  
人々の手によって架けられて来た橋、松日橋。

流されては架け直し、  
流されてはまた架け直す。

そんな松日橋の橋板も老朽化が進み、  
そろそろ限界を迎えています。

今回のプロジェクトでは橋板の架け替えとともに、  
この「流れ橋」の橋架け作業の知恵と技術の  
伝承にも繋げるべく、  
クラウドファンディングという仕組みへ  
挑戦をしています。

ぜひご協力、よろしくお願いいたします。



## クラウドファンディング実施中!

■クラウドファンディング実施期間  
**10月1日(月)～11月15日(木)**  
■目標金額 **30万円**

プロジェクト詳細&寄付方法に  
ついては右記のQRコードより  
ご確認ください。



東京理科大学  
建築学専攻学生  
×  
住田町



映画制作チーム  
×  
住田町



住田町に  
来た理由

### 住田町の夕涼み会で 竹を使ったワークショップがしたい！

住田町で開催される夕涼み会(8月9日)に合わせて、住田町の竹を活用したモニュメントの製作・展示、ワークショップの開催を行うため、東京理科大学建築学専攻学生さんと先生方、総勢約20名のみなさんが来町しました！

- 6/29 (Fri.)  事前打ち合わせ @ 東京
- 7/18 (Wed.)  現地視察 @ 住田町
- 8/6 - 8/9 (Mon.) (Thu.)  ワークショップ準備&開催 @ 住田町



6/29

東京都墨田区にある「喫茶ランドリー」にて初回の顔合わせ

兼事前打ち合わせを行いました。住田町サイドからは住田町の説明と交流拠点施設まち家世田米駅についての紹介を、学生さんからは今回の企画概要や、竹のモニュメントとワークショップについてご提案していただき、イベント開催に向けての意見交換を行いました。住田町のこども達・地域の方にとってどうしたらいい時間になるのかみなさん真剣に意見を出し合っていました。



△モニュメントが立ち並ぶ世田米商店街



△下有住地区公民館で竹に飾りをつけている様子



△住田町の竹を使った流しそうめんタイム



△藍染ワークショップの様子

8/9

住田町の夕涼み会当日。世田米商店街には学生達たちが1ヶ月以上前

からアイデアを練り、自ら制作を行った竹のモニュメントが立ち並び、藍染めを施した布が商店街で涼しげにはためいていました。夕涼み会会場の下有住地区公民館の敷地内では、町の景観づくりの一部として、学生がワークショップでこども達と一緒に作った小さな竹のオブジェも、モニュメントと一緒に飾られました。地区の方々が毎年手づくりでつくりあげる夕涼み会。この日は、学生達による藍染ワークショップブースの出店や住田町の竹で作られたそうめん台を用いた流しそうめんも実施され、地元の方々や子ども達との交流も生まれ、会場は大いに盛り上がったのでした。

### ✓住田町に来てみての感想

- ・自分の地元にはない、天然資源の豊かさが大変魅力を感じた。
  - ・住民同士の距離感の近さを感じた。
  - ・気仙川は水が綺麗で、鮎釣りができると聞いたので次回は体験してみたいと思った。
  - ・風情のある街並みがとても素敵だった。
  - ・蔵や町家などの文化を、地域に根ざして活用することができそうだと感じた。
- (イベント後の学生へのアンケートより抜粋)

住田町に  
来た理由

### 住田町の街並みをロケ地に、 ショートムービーをつくりたい！

都内在住の20代の若者を中心とする映画制作チームが、住田町を舞台に映画制作を行うため住田町に来町しました！俳優や撮影、編集担当の計9名が町内で寝泊まりし、合宿形式で行われた撮影は、度重なる議論や脚本の見直しが行われ、密度の濃いものとなりました。

- 7/1 (Sun.)  事前打ち合わせ @ 東京
- 7/16 - 7/17 (Mon.) (Tue.)  撮影候補地見学 @ 住田町
- 8/5 - 8/8 (Sun.) (Wed.)  撮影敢行 @ 住田町



7/16-17

都内での初回打ち合わせから約2週間後、撮影チームの代表2名が住田町を初訪問。住民交流拠点施設・まち家世田米駅をはじめとし、蔵並みや昭和橋、下有住の松日橋など、撮影地として利用できそうな場所を巡りました。地元中学生との交流も進み、彼らにとっては初めて触れる「映画制作」という文化に高い関心を抱いているようでした。2名は住田町内の景観を直接目にし、映画撮影へ改めて気合が入ったようです。



△まち家世田米駅蔵ギャラリー2FでのMTG風景



△陸前高田の風景の撮影



△まち家世田米駅SUMIcafeスペースも活用



△制作チームオフショット

8/5-8

8月初旬、制作チーム9名が都内より住田町内へ集いました。約

30分の短編映画『ある夏のできごと(仮題)』は、震災で両親を亡くし、訪れては帰ってしまうボランティアに不信感を募らせる地方在住の女性が主人公の物語。撮影期間の現地の天候は雨天ときどき曇り...。天候によって映画のシナリオも変わってくるということで、どのような展開にストーリーをもっていくのか、撮影期間中は制作チームみんなで議論し合いながら撮影を行っていました。撮影は、住田町だけではなく陸前高田市内でも行われ、雨の中でも敢行されました。

外から来た若者の目線で発見される、新たな住田町の魅力にどうぞご期待です。

\*制作された映画は、完成した後、住田町内での上映会を検討中です。

### ✓住田町に来てみての感想

- ・山と川と人との距離が近い。
  - ・人があたたかい。
  - ・写真映え、映像映えする場所がたくさんあってとても新鮮。
  - ・思ったより子どもたちがたくさんいることに驚いた。
  - ・住田町では人と自然に触れ合うこと、それがこのまちの醍醐味であると感じた。
  - ・野生動物がこんなに身近にいることに驚いた。
- (イベント後のアンケート/感想より抜粋)

けせんぶらり旅  
×  
住田町



現地ツアーを実施し、首都圏から9名の方にご参加いただきました。

Day1 8月25日 Sat.

- 東京駅発
- 水沢江刺駅着
- 南部鉄器工房見学@OIGEN
- 体験コース  
\*手打ちそば体験 『地元の人と一緒にそばを打とう』  
ランチ：下有住地区 手づくり打ちそば
- 中上団地（木造仮設住宅）見学  
両向地区 農家さん見学（収穫体験）／松日橋
- 住田町役場・消防署
- まち家世田米駅到着
- 夕食@地産地消レストラン・ケラッセ

Day2 8月26日 Sun.

- ケラッセにて朝食  
住田野菜のサラダバー&ドリンクバー
- 気仙郡復興見学  
陸前高田市・大船渡市を巡る  
「震災7年後の夏」
- 神田葡萄園 見学コース  
復興する町を一望
- キャッセン 見学  
休憩・ランチタイム
- 休憩タイム@道の駅ぼらん
- 水沢江刺駅発
- 東京駅着

OIGEN factory shop



奥州市にある及源铸造さんのOIGENファクトリーショップにて南部鉄器を見学。たくさんの素敵な鉄器を前にみなさん興味津々。

みんなの舞台



中上団地の仮設住宅を見学。東京大学建築学科の生徒さんたちが製作した「みんなの舞台」にもお邪魔しました。

けせんぶらり旅を写真で紹介

松日橋



松日橋にてバンザイ！



カンパルな夏野菜

下有住地区公民館にて蕎麦打ち体験！自分たちで打ったお蕎麦は格別の味...新鮮な野菜のかき揚げと共においしいランチタイムを過ごしました。



あそば

東日本大震災から7年が経過した陸前高田市のまちを高台から眺めます。

とうもろこし畑



下有住地区平林さん宅の畑を見学。立派なとうもろこしがたくさん実っていました。平林さん宅では生で食べられるおいしいとうもろこしも栽培されています。

めがね橋



お土産にいただきました

こちらですこしだけ涼みます。夏のめがね橋、かなり綺麗ですよ～

りくせんたかた



✓発行 住田町 〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向 88 番地 1

✓制作 一般社団法人 SUMICA 〒029-2311 岩手県気仙郡住田町世田米字世田米駅 13